

6. 「各分野の連携を促進する」

— 基本的な考え方 —

経済活動のグローバル化や情報技術の進化に伴う産業構造の変化、少子・高齢化の進展、人々の価値観の多様化など、産業を取り巻く環境は大きく変化し、それは市内の産業においても様々な影響をもたらしています。

町田市の産業の持続的な発展には、これらの変化に対応するための様々な分野での連携が欠かせません。

「農商工の連携」や「産官学の連携」によるイノベーションや新産業の創造を支援し、町田市が激しい都市間競争に勝ち残れるよう、市内事業者間や事業者と生活者等の連携を促進していきます。



◇ 6 - 1 農・商・工連携促進事業 ☆

取り組みの概要	<目的・狙い> ・ 農業の6次産業化による農業経営の安定化 ・ 市内商業者のビジネス機会の拡充 ・ 市内ものづくり事業者のビジネス機会の拡充		
	<内容> 農業と商業、農業と工業、商業と工業の連携を促進するほか、市内農業の6次産業化による、新たな産業の創出を促進していきます。		
	<実施主体> ・ 町田商工会議所 ・ (株)町田新産業創造センター ・ 町田市（産業観光課、農業振興課）		
	<協力> ・ 町田市農業協同組合		
指標	① 6次産業化プロジェクトの実施件数（累計） ② ①以外の連携プロジェクト実施件数（累計）	現状 (2012年度)	— (新規事業)
		目標 (2018年度)	① 2件 ② 6件

◇ 6 - 2 産学連携促進事業

取り組みの概要	<目的・狙い> ・ 大学等の研究成果の市内産業への活用 ・ 事業者ニーズの研究活動への活用		
	<取り組み内容> 大学等と市内事業者とのマッチング機会の拡充を進め、連携事業や連携研究の実施、研究成果の事業への活用を促進していきます。		
	<実施主体> ・ 町田商工会議所 ・ (株)町田新産業創造センター ・ 町田市（産業観光課）		
指標	① 産学連携交流会への参加事業者数 ② 産学連携プロジェクト実施件数	現状 (2012年度)	① 198事業者/年 ② 5件/年
		目標 (2018年度)	① 250事業者/年 ② 現状水準維持